

様式第2号

平成26年 3月27日

新見市議会議長 殿

報告者名  
 文教福祉常任委員会  
 委員長 杉本 美智子

市議会一般会議実施報告書

開催日時	平成26年3月25日(火) 13時30分～15時20分
開催場所	新見市哲多郷土文化館
団体名 代表者名	新見市婦人連合協議会
参加者数	14人
出席議員	杉本美智子・小河俊文・坂東義生・山本昌次・橋本亨子 面田照雄・仲田康豊・池田一二三
意見交換の 内 容	司会 小河俊文 進行 杉本美智子 1. 開会あいさつ 杉本美智子・中川会長 2. 自己紹介 3. 意見交換(内容は別紙) 4. 閉会あいさつ 池永副会長
議員間自由 討議の内容	なし
備 考	

## 意見交換の内容

テーマ：絆が生まれる地域づくりを考えよう！

### ①高齢者が安心して利用できる交通手段について

新見市婦人連合協議会	新見市議会
<ul style="list-style-type: none"><li>・高梁～西山～東城バスに乗りたいが、エリア外住民ということで乗れない。新見市と高梁市で話し合いをし、乗車できるように申し入れをしてほしい。</li><li>・エリア型デマンドバスはエリア内の住民だけが利用できるのか。</li><li>・どこまで送迎してもらえるのか、時間はどうか。</li><li>・今までのふれあい送迎バスの利用状況は。</li><li>・停留所の変更はできるのか。</li><li>・このバスはいつから走るのか。</li><li>・バス運行について、4月の市報に掲載されるということだが、目が不自由等で読めない人もいる。対象地域の住民に周知が行き届くよう細やかな配慮をして欲しい。</li><li>・実谷・代城はどこが起点となるのか。</li><li>・家からバス停留所まで遠いため、タクシーを利用している方に助成はできないか。</li></ul>	<p>(橋本議員が資料に基づき「エリア型デマンドバス」「定時・定路線型デマンドバス」について説明)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・意見としてお聞きし、市へ伝えます。 →委員会で調査。平成23年10月から週1回火曜日のみ「予約型乗合タクシー」として運行されています。 国の認可を受ける関係などからエリア外の新見市民は乗れませんのでご理解ください。</li><li>・基本的にはエリア内の住民が対象です。</li><li>・運行体系は、JRや備北バスの停留所までとなっており、行きたいところまでではありません。出発時間は途中での乗車予約を考慮して決定されます。</li><li>・ふれあい送迎バスの利用状況はよかったですと聞いています。</li><li>・利用状況によって変更されることがあります。変更は公共交通会議で検討されます。</li><li>・4月1日から運行されます。</li><li>・市に申し伝えます。 →委員会で調査。市報、告知放送、時刻表の配布をし、周知を行っています。</li><li>・該当地区には路線等の詳細が配布されます。</li></ul>

②高齢者、ひとり暮らしの方への声かけ運動について

新見市婦人連合協議会	新見市議会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 80歳以上の一人暮らし宅への訪問は、訪問者数1人につき500円が出ているが、お金ではなく声かけで安心できる。若くても身体の不自由な人への声かけも必要ではないか。</li> <li>・ 介護保険に入ると訪問が打ち切られる。</li> <li>・ 地区社協で訪問を定期的に行っている。年齢に関係なく訪問や声かけを必要としている人がいる。民生委員での見守りも必要ではないか。</li> <li>・ 災害時の対応が困難。</li> <li>・ 給食サービスも、若い年齢の人でも必要としている人がいる。</li> <li>・ 給食配達と安否確認を兼ねてしている。地域愛の認識にもなっている。</li> <li>・ 給食配達は民生委員がしており、お弁当を作っている婦人会では安否確認などの様子がわからない。情報が作る側にもわかるようになればいい。</li> </ul>	<p>(主に各地区の取り組みの実情について聞かせていただいた)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独居高齢者宅等戸別訪問支援事業は、市から社会福祉協議会へ委託している事業です。</li> <li>・ 予算の関係もありますが、地域の人からの声があれば、総合的に配慮していくと聞いています。</li> <li>・ 市は地域防災組織の設立を進めています。近所の力が大切です。また、緊急通報システムの利用もあるので、市へ申し込んでください。</li> <li>・ 安否確認の手段として給食配達などに取り組んでいる各地の事例を聞かせていただいた。</li> </ul>

③文化や技能の伝承について

新見市婦人連合協議会	新見市議会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・和食文化が世界遺産になった。和食を通じて子供たちに伝統を守ることを伝えている。各季節での行事を掘り起こし、学んでいければいいと思う。</li> <li>・親世代に伝統文化が伝承できていない。高齢者がどんどん亡くなってきており、どのようにして残すのかが問題。公民館活動での地域再発見などができなかと思っている。地域の再発見に婦人会も協力していきたい。</li> <li>・学校給食で三つ井が出た。伝承料理として学校給食で郷土食を出せばどうか。農機具なども保管して残すべきだと思う。</li> <li>・小学校の放課後子ども教室で百人一首を取り上げた。読み手の高齢者が大変喜んで読んでくれた。</li> <li>・郷土の山室恒民先生の絵画展示について、公共施設への展示は維持費が必要になるからと言われた。山室軍平などの偉人がいるので、こういった人を伝承し、保存していくのも大切。</li> <li>・電車を利用して、駅から新見美術館まで徒歩で来る人がいる。駅に陸橋を建設するなどが必要ではないか。また、駅から美術館までの案内板を設置できないか。</li> <li>・各地域の文化的なものをバスで回ることも考えたらどうか。</li> <li>・ふるさと祭りに地踊りを入れるのも伝統文化を残すうえでも必要ではないか。</li> <li>・公民館講座に人が集まらない。男性が公民館講座に参加できていない。</li> </ul>	<p>(文化や技能の伝承についての考え、思いを聞かせていただいた)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市は指定文化財を残すことを一番にしています。伝統文化は各地域で伝承して欲しいとのこと。伝承についていろいろな相談には乗ってくれます。</li> <li>・学校給食では、時々郷土料理を出しています。</li> <li>・郷土の誇りを後世に残していくことも大切です。ご意見としてお聞きします。</li> <li>・声かけをして隣の人と一緒に出られるようにするためにも、平素からの人間関係づくりが必要です。</li> </ul>

- ・着物を着ることも文化だと思う。自分で着られる人を増やし、着る機会も増えると良いと思いう着付けを学ぶ活動をしている。
- ・自分たちも何もできていない。葬式も最近では葬儀屋になり、昔からのしきたりが伝わらない。

(ここまでのご意見を聞いて、議員各自の考えや感想などを発言した)

- ・伝統文化は地域の人たちが主体となって伝承していかなければなりません。市はその応援団です。婦人会の皆様が積極的に取り組んでいただきたいと思います。
- ・公民館活動は働いている人は参加しにくいですが、健康で長生きをするためにもなるべく参加するようにしたい。
- ・伝承することは大切。忙しいながらも季節ごとの行事はするように心がけている。文化財については資料館をつくる必要があると感じている。
- ・今までのことを継続していくと自然とつながるのではないかと。
- ・たくさんのご意見を聞かせていただいてよかった。こういう機会をたびたびもちたい。
- ・教育委員会では文化伝承や保護・保存について各地区で取り組む際、補助金や手法などの相談に乗ることができると思うので公民館等とも話し合っただけで活用して欲しい。
- ・地踊りの伝承についてこれからも頑張っていきたい。